

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3554		
科目名	安全保障論 2（国家安全保障）		
担当教員	安藤 貴世		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 2		
講義室	1207	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1 倫理的思考・社会認識（10%） E1 学識と専門技能（50%） G1 状況把握（20%） I3 情報分析（20%）		
教員の実務経験	2006年から2009年まで3年間、外務省において任期付き職員として勤務し、外交実務を経験しました。 また、2016年より現在まで、法務省難民審査参与員として難民認定審査の業務に携わっています。 これらの実務上の知見と経験を活かし、実際に日本と諸外国との外交関係が形作られていく様子や、現実の国際的な諸問題の解決における国際法の適用などにも触れつつ講義を行います（第11、12、13回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	現代の日本は周辺国との間に領土、領海、領空をめぐる問題、ミサイルや核開発など様々な問題を抱えています。国家安全保障の観点から、日本の軍事、防衛、外交、エネルギーなど安全保障の問題を全体的にかつ網羅的に考察します。国家安全保障に関する研究の歴史、理論やモデルについて学び、国家安全保障に関する総合的な理解を深めることを目標とします。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 国家安全保障・日本の安全保障・日米同盟・集团的自衛権・領土問題		
授業の趣旨	■副題 国家安全保障について基本概念を身に付けたうえで、日本の安全保障の確保について学修します。 ■授業の目的 本講義は、そもそも国家安全保障とは何かという点をはじめとして、国家の安全保障の確保に関わる国際法の諸規則や国連の機能・役割など、国家の安全保障に関する基本的な概念を理解・修得したうえで、今日の日本の国家安全保障の現状や諸問題について、様々な角度から考察することを目的とします。		

	■授業のポイント 現代の諸国家は、伝統的な国家間戦争の可能性のみならず、国内における紛争、大量破壊兵器の拡散問題、国際テロリズムなど様々な安全保障上の危険に晒されており、それぞれの国家の安全保障の確保において、「危機管理」という概念が主張される場面も増えてきています。翻って我々が生活する日本は、周辺諸国との間に領土問題を抱え、中国の海洋進出などの影響を受ける立場にあり、日本にとっても国家の安全保障の確保はとりわけ重要な課題です 本講義では、日本国憲法第9条の基本理念、日米安保体制・日米同盟、自衛隊の役割・活動、集団的自衛権をめぐる議論、日本の領土問題、海洋進出を活発化させる中国など周辺諸国との関係、さらには「人間の安全保障」という新たな概念の登場と日本の外交政策に至るまで、今日の日本の国家安全保障をめぐるさまざまな問題について検証していきます。我々が日々、安全に生活するためには国家の安全保障の確保は不可欠なものであることを再認識しつつ、外交政策の決定において鍵となる諸国家との関係について理解を深め、今後の日本の国家安全保障の課題について探ることも射程とします。						
総合到達目標	■国家安全保障に関する基本構造について説明できる。 ・安全保障の基本類型を理解したうえで、国家安全保障の維持をめぐる、国際法や国連の役割について説明できる（第1回～第7回）。 ・日本の国家安全保障に関する時事的な問題や、そこから生じる諸問題について理解し、自らの言葉で説明できる（第8回～第15回）。 ・今後、日本が国家の安全保障を確保し、外交政策を構築していく上で、どのような点を重視すべきかについて、常に問題意識を有し、自身の考えを他者に分かりやすく伝えることができる（第8回～第15回）。						
成績評価方法	■リアクションペーパー、授業内容に関するミニテスト 3～5回（授業の進度により、回数が変更となる可能性があります。）（20%）：適用ループリック C1、F1、H1 （評価の観点）授業の内容を踏まえ、自ら考え理解しようとしているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）次の回の授業において解説をします。 ■中間テスト（授業の進度により、テストの実施回を変更することがあります。） 1回 （30%）：適用ループリック C1、E1、F1、G1、H1、I3 （評価の観点）授業の内容について理解し、自らの言葉で説明することができているかを評価します。 （フィードバックの方法）：提出後、解説を行います。 ■まとめのテスト（授業の進度により、テストの実施回を変更することがあります。） 1回 （50%）：適用ループリック C1、E1、F1、G1、H1、I3 （評価の観点）授業の内容について理解し、自らの言葉で説明することができているかを評価します。 （フィードバックの方法）提出後、解説を行います。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	①現代の国際関係や安全保障に関わるニュースを観ていて、「よくわからないなあ」とか「なぜだろう?」と思ったことがある方には、この講義で理解のための手がかりを提供しますので、ぜひ受講してください。 ②授業中の私語は厳禁とします。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 国家安全保障とは ②授業概要 国家とは何か、安全保障の概念、安全保障の類型（個別的安全保障、対抗的安全保障（同盟）、集団的安全保障）など、本講義を貫く基本的な概念について説明できるようになる（E1）。 ③予習（120分） 新聞記事やテレビのニュースなどで、国家安全保障に関連する時事問題をピックアップする。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。	2	①授業テーマ 国家安全保障とは ②授業概要 国家とは何か、安全保障の概念、安全保障の類型（個別的安全保障、対抗的安全保障（同盟）、集団的安全保障）など、本講義を貫く基本的な概念について説明できるようになる（E1）。 ③予習（120分） 新聞記事やテレビのニュースなどで、国家安全保障に関連する時事問題をピックアップする。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。						
2	①授業テーマ 国家安全保障とは ②授業概要 国家とは何か、安全保障の概念、安全保障の類型（個別的安全保障、対抗的安全保障（同盟）、集団的安全保障）など、本講義を貫く基本的な概念について説明できるようになる（E1）。 ③予習（120分） 新聞記事やテレビのニュースなどで、国家安全保障に関連する時事問題をピックアップする。						

	④復習（120分） 講義ノートを見直し、安全保障の類型についてまとめる。
3	①授業テーマ 国家安全保障と国際法（1） ②授業概要 国家安全保障と国際法との関わりについて、戦争違法化の歴史、集団安全保障体制、安全保障理事会の機能など中心に説明できるようになる（E1、I3）。 ③予習（120分） 国連の安保理決議の最近の事例について、国連のホームページや新聞記事などを検索し調べる。国際法を履修済みの場合、講義ノートの関連部分について復習する。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、国際連盟、国際連合の集団安全保障体制に比較しつつまとめる。
4	①授業テーマ 国家安全保障と国際法（2） ②授業概要 国家安全保障と国際法との関わりについて、集団的・個別的自衛権の概念、武力紛争法の概要などを説明できるようになる（C1、E1）。 ③予習（120分） 国際法を履修済みの場合、講義ノートの関連部分について復習する。 ④復習（120分） 講義ノートを見直す。特に国際法における自衛権の概念について十分に理解し、まとめる。
5	①授業テーマ 国家安全保障と国連（1） ②授業概要 国家の安全保障の確保における国連の役割について、とくに国連の平和維持活動（PKO）に関して説明できるようになる（E1、I3）。 ③予習（120分） 国連の平和維持活動（PKO）に関する最近のニュースについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、冷戦終結前と後のPKOの特徴について比較しつつまとめる。
6	①授業テーマ 国家安全保障と国連（2） ②授業概要 国家の安全保障の確保における国連の役割について、とくに国際テロリズムへの対処（法的規制を含む）などに関して説明できるようになる（E1、G1、I3）。 ③予習（120分） 国連の対テロ対策に関する最近のニュースについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、講義で扱った対テロ条約の概要についてまとめる。
7	①授業テーマ 中間テストと解説 ②授業概要 国際人権法に関する学習を総括し、中間テストおよびその解説を行う（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） これまでの講義ノート全体を見直し、不明な点等がないか確認する。 ④復習（120分） これまでの講義と中間テストを振り返り、理解不足の箇所がある場合には十分に復習する。
8	①授業テーマ 日本の安全保障（1）－憲法第9条、日米安全保障体制、集団的自衛権 ②授業概要 日本の安全保障に関する基本構造について、日本国憲法第9条、日米同盟・日米安保体制、集団的自衛権の限定容認などに関して説明できるようになる（E1、G1、I3）。 ③予習（120分） 日米同盟に関する最近のニュースについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、自衛隊がPKOに参加する際に満たすべき要件などについてまとめる。

9	①授業テーマ 日本の安全保障（2）－自衛隊の役割・活動① ②授業概要 自衛隊の機能・役割、専守防衛の概念、国際社会における自衛隊の貢献のうち特にPKO活動への参加について説明できるようになる（E1、G1、I3）。 ③予習（120分） 自衛隊が参加したPKO活動について、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、自衛隊がPKOに参加する際に満たすべき要件などについてまとめる。
10	①授業テーマ 日本の安全保障（3）－自衛隊の役割・活動② ②授業概要 国際社会における自衛隊の貢献のうち、特にソマリア沖における海賊対処について説明できるようになる（E1、G1、I3）。 ③予習（120分） 自衛隊による海賊対処活動について、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、自衛隊による海賊対処活動と海賊対処に対する日本の法制についてまとめる。
11	①授業テーマ 日本の安全保障（4）－日本の領土問題① ②授業概要 日本が周辺諸国との間に抱える領土問題である北方領土問題に関し、歴史的経緯、日本と相手国の主張の対立、現状、国際法の観点からの考察、領土問題の解決の可能性などについて説明できるようになる（E1、G1、I3）。 担当教員の実務経験を踏まえて、領土問題に対する日本の取組みについて講義します。 ③予習（120分） 北方領土問題に関する最近の動きについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、北方領土問題について歴史的経緯をまとめる。
12	①授業テーマ 日本の安全保障（5）－日本の領土問題② ②授業概要 日本が周辺諸国との間に抱える領土問題である竹島問題に関し、歴史的経緯、日本と相手国の主張の対立、現状、国際法の観点からの考察、領土問題の解決の可能性などについて説明できるようになる（E1、G1、I3）。 担当教員の実務経験を踏まえて、領土問題に対する日本の取組みについて講義します。 ③予習（120分） 竹島問題に関する最近の動きについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、竹島問題について歴史的経緯をまとめる。
13	①授業テーマ 日本の安全保障（6）－尖閣諸島をめぐる問題 ②授業概要 尖閣諸島は、北方領土や竹島問題と異なり、日本が実効支配をしており、日本の領土問題ではない。但し、中国（や台湾）との間に意見の対立が存在する。こうした現状を含め、本問題の歴史的経緯、日本と相手国との主張の対立、現状、国際法の観点からの考察、本問題について今後日本がとるべき方針などについて説明できるようになる（E1、G1、I3）。 担当教員の実務経験を踏まえて、尖閣諸島をめぐる問題に対する日本の取組みについて講義します。 ③予習（120分） 尖閣諸島に関する最近の動きについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、尖閣諸島をめぐる問題と北方領土問題、竹島問題との相違についてまとめる。
14	①授業テーマ 人間の安全保障 ②授業概要

	日本政府が外交政策の中心理念の1つとして掲げる「人間の安全保障」とはどのような概念か、人間の安全保障の実現のための具体的な政策、国家の安全保障との関係などについて説明することができる（C1、E1、G1）。 ③予習（120分） 人間の安全保障に関する日本政府の取り組みについて、新聞記事などを検索し調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、人間の安全保障とは何かについて自らの言葉でまとめる。
15	①授業テーマ まとめと授業内試験 ②授業概要 これまでの14回の授業での学習を総括し、安全保障論2（国家安全保障）に関するまとめの考察を行う（E1、I3）。 ③予習（120分） これまでの講義ノート全体を見直し、不明な点等がないか確認する。 ④復習（120分） 講義全体を振り返り、今後の履修計画（安全保障論2（国家安全保障）の関連科目など）を検討する。
関連科目	国際法（RMGT3451）、安全保障論1（国際安全保障）（RMGT3551）、国際政治学（RMGT3552）、国際人権・人道法（RMGT3453S）、防衛法制（RMGT3452）、防衛政策（RMGT3557）、平和構築論（RMGT3557S）
教科書	植木俊哉・中谷和弘編『国際条約集2024年版』（有斐閣、2024年）を毎回持参して下さい。昨年購入済みの場合は、2023年版でも構いません。
参考書・参考URL	初回授業および各回の授業において適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 水曜5限（予定）。それ以外の時間帯については、メールで事前にアポイントメントを取って下さい。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント15%：パブリックセキュリティ20%：グローバルセキュリティ60%：情報セキュリティ5% ■危機管理学と法学とのバランス 法学40%：危機管理学60%

